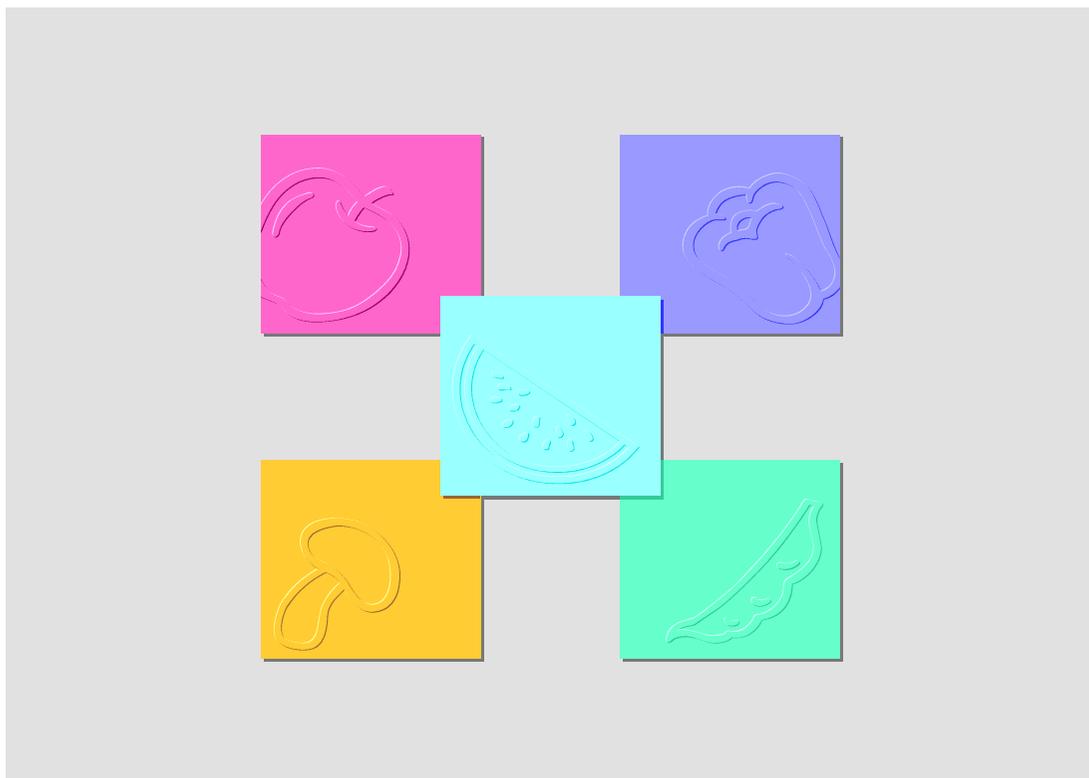


2016年後期
《3年生対象:準備講座》

国語・算数
スキル・トレーニング

～確かな学力を育てるために～



3年生対象:準備講座

国語・算数 スキル・トレーニング

書く × 読む × 計算 → 確かな力

アクセスでは中学入試が求める「自ら考え、表現する力」を育成するカリキュラムを作成し、日々その指導にあたっています。

「考える力」が育つためには、計算力、読解と表現のための漢字や言語の力が不可欠です。アクセスでは、確かな学力を育てるための準備として、独自の3年生授業を行います。

「3年生対象:準備講座」:実施要項

《 期 間 》 9月～1月までの全16回

《 曜 日 》 新百合ヶ丘校:火曜日(週1回)
あざみ野校:水曜日(週1回)

《 時 間 》 午後4時30分～午後5時30分(60分間)

《 内 容 》 ◆ 国語と算数、それぞれ8回の授業です。

《 会 費 》 月会費 10,800円(税込)

※9月会費のみ、副教材学研「漢字力560」(1,944円:税込)
と併せて12,744円となります。

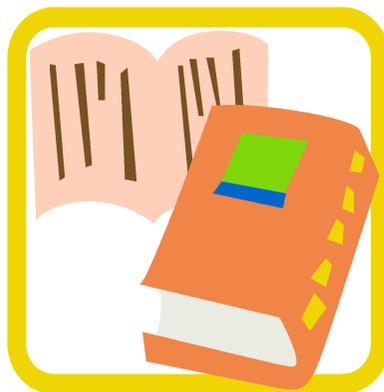
※月会費納入期間は、9月～12月の4ヶ月間です。

1月度会費は必要ありません。

◆教材 アクセスのオリジナル・テキスト
学研「漢字力560」(アクセス国語科編集)

3年生対象準備講座：授業進行表

火曜日	水曜日	科目	テーマ
9月13日	9月14日	算数①	たし算：第1回(1+9, 2+8, 3+7, 4+6, 5+5は同じ)
9月20日	9月21日	国語①	書く、読む①
9月27日	9月28日	算数②	たし算：第2回(和一定)
10月4日	10月5日	国語②	書く、読む②
10月11日	10月12日	算数③	たし算：第3回(仮の計算)
10月18日	10月19日	国語③	書く、読む、メモをとる③
10月25日	10月26日	算数④	ひき算：第1回(差一定)
11月1日	11月2日	国語④	書く、読む、メモをとる④
11月8日	11月9日	算数⑤	ひき算：第2回(過不足)
11月15日	11月16日	国語⑤	書く、読む、メモをとる⑤
11月22日	11月30日	算数⑥	ひし算：第3回(数を分解してみよう)
11月29日	12月7日	国語⑥	書く、読む、メモをとる⑥
12月6日	12月14日	算数⑦	かけ算：第1回(たし算をかけ算に変身！)
12月13日	12月21日	国語⑦	書く、読む、メモをとる⑦
12月20日	1月11日	算数⑧	かけ算：第2回(バラバラにしてかけよう～分配法則～)
1月10日	1月18日	国語⑧	書く、読む、メモをとる⑧



国語

漢字

「習った漢字にはこんな意味があったのか！」と発見したり、気づいたりするための学習を行います。漢字は、成り立ちに注目して、意味の多義性をとらえたり、熟語を考えたりする学習が大切です。

授業のはじめに、家庭学習をふりかえるための「書き取り問題」を行います。

【使用教材】◆漢字力560

「漢字力560」(アクセス国語指導室監修・学研)を使用します。テキストに直接書きこむスタイルです。漢字の部首や成り立ちから意味をたしかめて、それをふまえた熟語の穴埋め問題に取り組みます。

家庭学習については、「次の授業までにどこまでやるのか」を授業中に指示します。およそ1日2ページのペースになるでしょう。ただし、進められる人は、自分のペースでどんどん進めても構いません。

漢字力560:の学習範囲		
	テーマ	ページ
第1回	人に関係のある部首(1)	6ページ~29ページ
第2回	人に関係のある部首(1)、(2)	30ページ~53ページ
第3回	人に関係のある部首(2)	54ページ~77ページ
第4回	人に関係のある部首(2) 動植物に関係のある部首	78ページ~101ページ
第5回	動植物に関係のある部首	102ページ~125ページ
第6回	動植物に関係のある部首 自然に関係のある部首	126ページ~149ページ
第7回	自然に関係のある部首	150ページ~168ページ
第8回	家に関係のある部首	172ページ~193ページ

音読とメモ

音読には「脳の活性化」など様々な効用があると言われています。しかし、この講座では、もっとも単純なことをねらいとしています。

音読のできない子で国語のできる子はいません。一方、国語のできる子で音読のできない子もいません。したがって、国語の力を育むにはまず音読ができるようになる必要があります。

音読が上手にできるということは国語ができるための最低条件の一つです。まずは、この最低条件の一つをクリアしていくことがこの講座のねらいです。

取り上げる課題文は一度は読んでおきたい作品を選んでみました。ストーリーを楽しみながらの音読練習をしていきたいと思います。

また、第3回からは先生の読み上げる文章を聞いて、メモをとる練習をサブ・テーマとして行います。

	学 習 内 容	
	音読練習(課題文)	話のメモをとる
第1回	ふるやの森(日本の民話)	——
第2回	手袋を買いに(新美南吉)	——
第3回	新ちゃんが泣いた(佐藤州男)	話を聞いてメモを取る(1)
第4回	よだかの星(宮沢賢治)	話を聞いてメモを取る(2)
第5回	最後の一葉(オー・ヘンリー)	話を聞いてメモを取る(3)
第6回	きつねのまど(安房直子)	話を聞いてメモを取る(4)
第7回	赤とんぼ(新美南吉)	話を聞いてメモを取る(5)
第8回	風の又三郎(宮沢賢治)	話を聞いてメモを取る(6)



算数

計算は算数の基本です。計算問題を小学校で習った「やり方」だけで取り組んでいるだけでは、文章題を解く力には結びつきません。

例を挙げて、ご説明しましょう。

$79+98$ を普通に計算すると、くり上がりがあるのでミスしやすいものです。

そこで、79は80に近く、98は100に近い。ぴったりの数ならば計算しやすいので、まず、その数で計算します。 $80+100=180$ これなら簡単ですね。

でも、 $79+98$ の計算よりも3大きくなってしまいます。そこで、答えから、大きくした分を引きます。

$$79+98=80+100-3=177$$

これで、くりあがりやを気にせずに計算することができます。

「もし、少し数を大きくして計算したら・・・」と仮定して計算する方法です。この「もし、～だったら」と考える方法は、「和差算」「つるかめ算」などの文章題の考え方のもとになります。

また、問題とはちがう似た数にして計算をする方法は、「分配算」や、「平均算」での「仮平均」などに利用できます。

このような計算方法が身につけば、算数の力を確実に伸ばすことができるはずです。

学 習 内 容	
第1回	たし算①
第2回	たし算② (和一定)
第3回	たし算③ (仮の計算)
第4回	ひき算① (差一定)
第5回	ひき算② (過不足)
第6回	ひき算③ (数を分解してみよう)
第7回	かけ算① (たし算をかけ算に変身)
第8回	かけ算② (分配法則)



【学習の進め方】

(1) 授業のテキストは、「例題」と「練習問題」に分かれています。「例題」で先生の説明を聞いた後、「練習問題」に取り組みます。

(2) ドリルについて

家庭学習用のドリルを用意します。毎日、時間を決めて取り組んでください。

翌週、国語の授業の日にやったドリルを先生に見せてください。先生が、チェックをした上で返却します。

《申込方法》

◇下記申込用紙に必要事項をご記入の上、アクセス窓口にご提出ください。

◇会費の納入は、「銀行振込」をお願いしています。

- ・振込口座は申込時にお知らせいたします。
- ・振込手数料はご負担願います。

* 講座内容について不明な点やご質問は、教室まで遠慮なくお問い合わせください。

アクセス新百合ヶ丘校
044(969)3969

アクセスあざみ野校
045(905)1871

3年生対象：準備講座申込書

3 年	アクセス番号	3 年 生 対 象 ： 準 備 講 座	
氏名 フリガナ _____ 男 ・ 女		電話番号 _____	申込会費 _____ 円
保護者名 _____	生年月日 _____ 年 月 日生	学校名 _____ 小学校	
住所 (〒 _____)			領収印